

# ミニスキマーMS-S(MS-B)のメンテナンス

ポンプの吸込み力が弱い。

切粉やスラッジが詰まっていないか  
点検してください。

Y

- 詰まり易い箇所  
1)ポンプバルブケース  
2)逆止弁  
3)ニップル部  
4)Qpotの底部

- 切粉・スラッジの多い場合  
(1) ストレーナをつけてみてください  
次ページ参照  
(2) スラッジ掻き出し機能の付き  
「SL-mini」が適しています

N

Qpotを点検

ジャバラが破損したり、熱で膨潤して  
いないか点検してください。

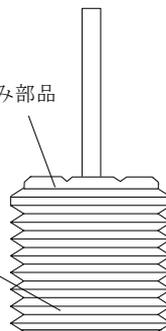
Y

フロート

交換のときは、使用済み部品  
をお送りいただけます。

ジャバラ

高温や強酸・強アルカリ  
の場合は、傷みやすいので交換  
してください。



Qpotのジャバラの材質は次のもの  
があります。用途に応じて、お選び  
ください。  
液の種類、使用目的をお知らせ  
できれば選定いたします。

- NBR(通常品)
- CRゴム
- FKM(バイトン)

N

ポンプバルブケース内を点検

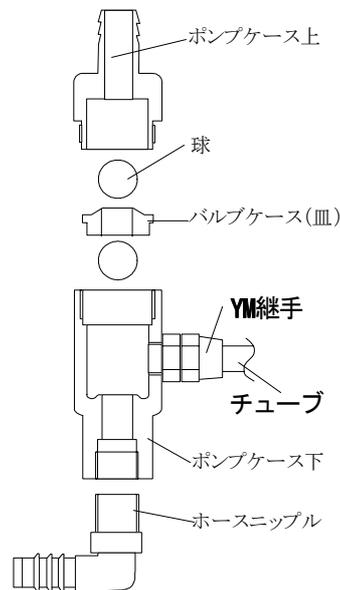
ポンプバルブケースの内部に傷が  
ないか？  
チューブが傷んでいないか？

Y

切粉が多い場合、バルブケースの内部  
が傷つき吸い込みが弱くなります。

高温での使用の場合、チューブが弱く  
なり吸い込み能力が低下します。

ポンプバルブケース



N

ポンプベローズの劣化

ポンプベローズが硬化したり劣化し  
ますと吸い込み力が落ちてきます。

Y

ポンプベローズは定期的に交  
換していただきますと安定し  
た吸い込みが得られます。

高温での使用の場合は特に  
早く劣化します。

N

揚程能力が不足している

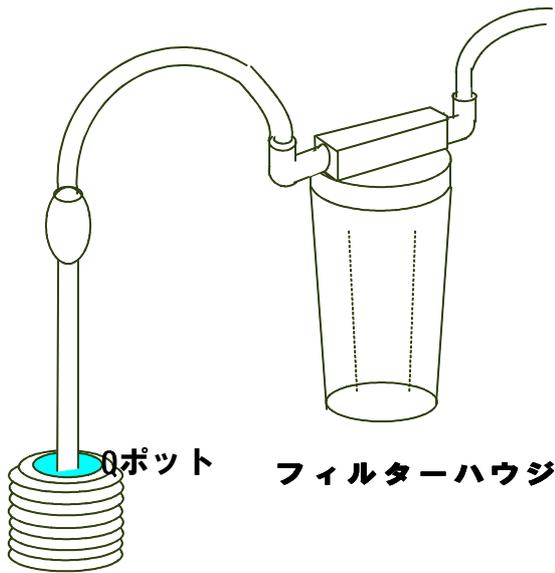
分離槽のメンテナンス

「ハイスキマーHS-B」、「ゆとりエースYA-B」など揚程、使用  
条件に応じた機種を選定ください。

次ページを参考に、分離槽の内部に溜まったスラッジなど  
除去しメンテナンスしてください。

液の修理・用途に応じた様々な使用例についてはお問い  
合わせください。

## ストレーナの利用

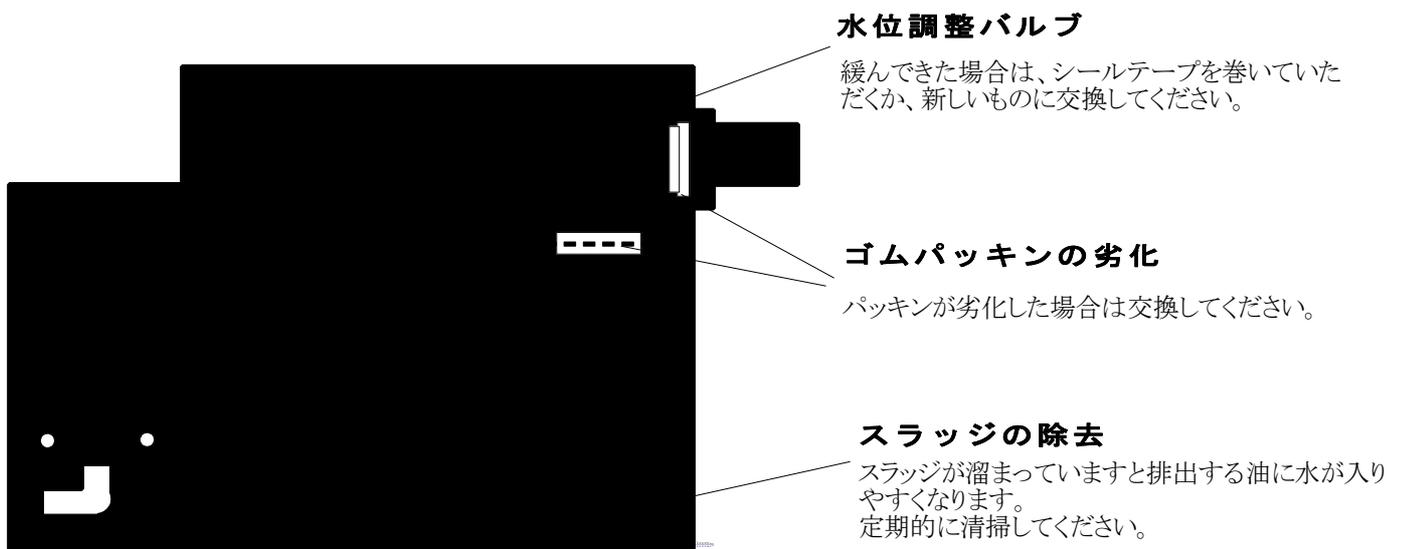


アルミの切粉など軽く浮上油とともに吸込んでしまいやすい時は、図のようなフィルターハウジングをストレーナーとして取り付けると問題は簡単に解決します。

アルミなどの切粉の場合容器のなかに沈殿しますので、一定量になってから取り出せます。ハウジングは透明のものが便利です。

この種のフィルターハウジングは多くのメーカーがあります。価格も様々ですが安いものなら一万円以内で入手できます。

## 分離槽のメンテナンス



### 水位調整バルブ

緩んできた場合は、シールテープを巻いていただくか、新しいものに交換してください。

### ゴムパッキンの劣化

パッキンが劣化した場合は交換してください。

### スラッジの除去

スラッジが溜まっていますと排出する油に水が入りやすくなります。定期的に清掃してください。

## 機種選定・オプション

水位の変動がある場合	200mmstのジャバラ使用 フロート付きQpotを使用
高性能の分離能力が必要	YA-Bをお勧めします。(分離槽だけを大きくできます)
高温での使用	吸い込み管などをSUSに変更できます
強酸での使用	塩ビ製の分離槽があります。
スラッジが多い	SLミニをご利用ください。
粘度のある油脂	掻き出し機能付き分離槽があります。
高い揚程が必要	HS-B,YA-Bをお勧めします。
薄い油膜を回収したい	油膜の吸着エレメントを提案ください。
200V電圧仕様	単相、三相とも対応可能

その他要望があればお申し出ください。